

ジュニアサッカーフエスティバル

終了報告

平成26年12月6日～7日 1泊2日 愛川ふれあいの村主催事業

吹きぬける風が次第に冷たく感じてくる季節に、愛川ふれあいの村主催事業「ジュニアサッカーフエスティバル」を行ないました。神奈川県内の12チーム、総勢229名の方にご参加いただき、多くの人や自然とふれあいながら、大きな賑わいをみせました。



1日目、開会式が始まる前に、職員のいる本部へ一列に並び「よろしくお願いします！」と、元気いっぱいに挨拶をしにきてくれました。これから戦う他のチームへの挨拶も元気いっぱい！そして、試合前のアップでも大きな声を出し、気合い十分！試合への意気込みをととても感じられます。



青空の下で、天高く響くホイッスルの音と共に試合開始！1試合目から、やる気に満ち溢れたプレーに、コートの外にいるコーチや選手、保護者の方の応援にも熱が入ります。「どんまい！次だ！」「今のダッシュよかったよ！」と、うまくいかなかったプレーに対しても、前向きな声掛けで選手を後押しします。



1日目の最終試合では、試合開始と同時に初雪が降ってきました。「雪だ～！」と、目を輝かせて喜び子どもたち。そんな変化の多い自然にふれながらも、白熱した試合を繰り広げ、1日目は終了。チームごとに宿泊棟へ移動し、みんなで楽しく仲良く夕食と入浴です。仲間と過ごすお泊りに、ドキドキわくわく！



夜は、大人も子どもも揃っての、キャンドルファイヤーです。初めて出会う仲間と一緒に、大声を出して、大盛り上がり！ゲームやダンス、歌を全員で楽しみ、思い出に残る一夜となりました。



2日目は曇り時々晴れ。薄暗い朝早くから起き、今日1日に備える子どもたち。「おはようございます！」と、元気いっぱいの挨拶を他のチームと交わします。宿泊棟の清掃は仲間と協力をし、朝ごはんもバランスよくしっかり食べ、準備万端！1日目の結果をふまえ、2日目の試合でコートごとに順位が決定します。



笑顔でふざけていたかと思いきや、試合になると真剣な表情の子どもたち。円陣を組み「いくぞー！」と、気合いの入った声で活を入れたら、試合開始！「どんまい！大丈夫！」「諦めるな！」と、思いやりや励まし声が飛び交います。コーチからのアドバイスも真剣な表情で聞きます。



勝ったら共に抱き合って喜び、負けたら共に肩に手をやり悔しがる。こういった、仲間同士だからこそわかる気持ちを共有できること。その積み重ねがチームの絆を深め、チームとして、人として成長していくのだと感じました。



午後は、2日間審判員としてご協力いただいた【東海大学サッカー部】の皆さんによる、サッカーレッスンを行ないました。全12チーム混合で8グループに分かれ、スタート！初めは緊張の面持ちでしたが、ボールを蹴り合い、「へい！パス！」「こっち！こっち！」と、自然に声を掛け合います。次第に会話も弾み、最後にはすっかり仲良し♪笑い声が飛び交い、サッカーを通して交流の素晴らしさを感じました。



最後に表彰式で全チームの栄光を称え、2日間の幕を閉じました。この2日間で、サッカーを通して多くの人や自然にふれあいました。そして、仲間と一緒にごはんを食べ、お風呂に入り、宿泊し、共に生活することで、普段見えない一面を見ることもできました。これからも多くのことを学び、多くの人や自然とふれあいながら、仲間と一緒にサッカーを楽しんでいって下さいね。

文責：多田

【参加チーム】



友愛サッカークラブ



西鎌倉SC



枅形FWSC



FC南生田サントス



SFCジュニオール



鳶尾ジュニアサッカークラブ



作のロサッカースポーツ少年団



MIYAKAMI FC



東汲沢SC



上矢部FC



相模原フットボールクラブ



国府ジュニアサッカークラブ

【協力・協賛】



協力:東海大学サッカー部



協賛:株式会社コカ・コーラ セントラルジャパン



協賛:株式会社 寿食品